

日置川宿泊体験

11月15～17日,和歌山県白浜町日置川地区で宿泊学習を行いました。

この宿泊学習の目的は次の5点でした。

- ・豊かな自然に恵まれた環境の中,農林漁村の生活を通して,自然との共生や現地の産業や日本の伝統文化に触れ,理解を深める。
- ・普段の生活とは違う地元の民家に泊まる上でのルールや礼儀を意識し,自ら考え行動する。また,共同生活を通してお互いを思いやる心,助け合う心,情感豊かな心を育む。
- ・総合的な学習の時間で学習した産業に関する視点を活かし,地元の人との交流を深め,人のつながりを学ぶ。
- ・総合の日に行う物産販売にむけた準備の一環として活動する。
- ・民泊や体験プログラムを通して,3年生でのカナダ研修旅行につなげられる経験を積む。

15日の朝,バスに乗り出発。



出発のときはあいにくの天候でしたが,和歌山につく頃にはすっかり晴れ上がっていました。



現地で昼食をとった後,迎えに来てくださったホームステイ先のご家族と
対面し,早速各ご家庭へと向かって出発しました。



屋内での作業に従事したり,ご家庭の方と話をしたり,五目並べで遊んだり,
早速夕食を作り始めたりと,楽しく活動していたようです。



2日目も素晴らしい天候の下で,日置川地区での産業を体験する「ほんまもん体験」に取り組みました。各グループ,物産展で担当する産業別に,以下の
5コースに分かれて,体験活動を行いました。

【午前】

- ① 紀州備長炭の作業
- ② 森林間伐
- ③ 梅の剪定・梅ジュース作り
- ④ 小鷹網漁
- ⑤ 味噌作り体験

【午後】

- 紀州備長炭風鈴作り
- 木工品製作体験
- 梅ジャム作り
- 藍染め体験
- 波止場釣り

【午前のようす】





【午後のようす】



「自分が調べていたよりもたくさんを知れたし、調べるだけではわからないようなことも自分で感じる事ができた。」

「魚釣りは初めて体験することだし、釣れるかどうか、竿の使い方とかで怖いところもあったけど、インストラクターの人が助けてくれたりして、インストラクターの人と話していてとても楽しかったし、たくさんの魚を釣れた素晴らしい経験になりました。」

と多くの感想が寄せられました。生徒たちは充実した時間を過ごしてくれたのではないかと思います。

3日目も快晴に恵まれました。

朝から地区の小学校の体育館で集合し、民泊の方とのお別れをしました。とても短い3日間でしたが、民泊の方の温かさに触れることができた生徒たちからは優しい笑顔があふれていました。



その後、地区の小学校と公民館に分かれて、物産展の品物を提供していただく生産者の方々とのミーティングを行いました。

事前に作成したスライドを生産者の方に発表し、物産展にむけたアドバイスを生産者の方からいただきました。

生徒たちは、熱心に耳を傾け、多くのメモを残していました。



その後バスに乗り込み、別れを惜しみながら日置川を出発し、夕方高槻に到着後解散しました。



地元の方の優しさに触れながら、本日の日置川物産展にむけた良い取り組みとなりました。